

生徒指導だより

～君たちは未来から「今」を託されている～

No.6 2014.9.10



日本一をめざす学校に行ってきました!!



先日、福岡県の中学校を訪ねてきました。生徒全員で日本一をめざしている学校です。めざしているのは「あいさつ」と「黙掃（もくそう）」。

日本一をめざすあいさつとは、どういうものでしょう。また「黙掃」とはいったい何でしょう。

あいさつ

私は、校内のあちらこちらを見学させていただきました。そこで出会う生徒は全員、私とすれ違う手前で立ち止まり、大きな声で「こんにちは」と声をかけてくれます。はじめは、私がお客様だから、丁寧にあいさつしてくれているのかなと思いました。ところが、生徒はみな、その学校の先生方とすれ違うときにも、すれ違うたびに、私にするのと同じあいさつをしていました。

このあと紹介する黙掃の前に昼食があります。昼食を終え、片付けが始まると、学校は静まりかえります。黙掃の始まりです。そうすると、生徒も先生もみな、黙って頭を下げ、あいさつを繰り返すのです。

黙掃

「黙掃」は「黙想」とは違います。もくそうの「そう」の字が違うのです。

日本一をめざしている「黙掃」とは掃除のことです。掃除の時間、全校の誰もが無言で掃除をします。生徒はもちろん、先生方も黙ったままです。



全員が黙って掃除することで、相手が何をしてほしいか、自分は何をされると嬉しいかを、互いにわかり合えるようになるそうです。静かな中で掃除が行われているので、道具の扱いや机の持ち運びなど、学校のものをとても大切にしていました。

黙掃が終わると、各清掃区域で班員による清掃反省会が行われます。清掃への取りかかりの様子やすみずみまで清掃できているか、その問題点の対策



等話し合い、清掃用具の確認をします。ここにもあいさつがありました。「今から反省会を始めます。礼」、「これで反省会を終わります。礼」、「ありがとうございました」。

「黙掃」は、「目配り」「気配り」「心配り」ができる人を育ててくれるとのことでした。教室も廊下も階段も、すべての床に膝を付いてぞうきんがけをする生徒たちの姿を見て、「学校を磨くことで自分を磨いている」と感じました。

この学校は、生徒数334名で、351名の東和中学校とよく似た規模の学校でした。朝の読書も行っており、そのときは静まりかえった落ち着いた雰囲気の中、読み浸る（よみひたる）姿があると言います。

私は、この学校に、東和中学校とどこか似た雰囲気を感じながら生徒のみなさんの笑顔に触れ、同時に東和中学校のみんなの顔を思い浮かべ考えました。東和中学校のみんななら、どんな日本一をめざすだろう。本気になれば、あいさつや掃除でも、この中学校と勝負できるんじゃないか。その答えは、これからのみなさんが出してくれるでしょう。

